



2-6-2 解答例 ①受注

IT業務処理統制のRCM

ケーススタディ

会社名	A社
決算期	平成〇〇年3月
場所	本社
取引サイクル	販売サイクル
ファンクション	受注
関連する勘定科目	売上、売掛金

網羅性	実在性	期間配分	権利と義務	評価	表示
-----	-----	------	-------	----	----

作成者・作成日	◇◇◇◇ 2006/12/23
確認者・確認日	□□□□ 2007/1/24

高：統制活動の結果のリスクが大きい場合（重要な欠陥など）  
中：結果のリスクが無視できない場合（不備がある）  
低：結果のリスクが小さい

リスク	統制目標		No.	主要な統制活動	自動化 手作業	頻度	要件 (アサーション)						整備 運用	統制評価手続	評価並びに検出事項 (検出事項がある場合、その影響)		調査番号	評価結果
	留意事項						NA	O	NA	O	NA	O			NA	O		
			38	FAX受注の入力後、注文伝票が出力され注文書と照合され、注文書に受注番号を記入した後、上長のチェックと押印を得ている。	自動・手動	日	NA	O	NA	NA	NA	NA	整備・運用	業務担当者へのヒヤリング。7月の注文伝票から25件をサンプルとして注文書と照合し、受注日、数量の一致を確認した。	OK（検出事項）無し 受注日の過去日付での入力禁止の運用は遵守されていると考えられる。ただ、入力不可、または、過去日付入力の記録と上長へのアラートなどのシステム改善が望まれる。	記載省略	低	
正当でない財務情報が記録される	正当でない	正当でない受注が登録される	21	取込処理の際に、得意先マスタに登録のないものはエラーとなる	自動	日	NA	O	NA	O	NA	NA	整備・運用	システム担当者へのヒヤリング 7月分の受注エラーリストを全件査閲し、得意先に関するエラーの表示とその訂正内容を把握した。	OK (検出事項) 無し	記載省略	低	
			22	取込処理の際に、商品マスタとEDIデータの価格が照合され不一致のデータはエラーとなる	自動	日	NA	O	NA	O	NA	NA	整備・運用	システム担当者へのヒヤリング 7月分の受注エラーリストを全件査閲し、得意先に関するエラーの表示とその訂正内容を把握した。	OK (検出事項) 無し	記載省略	低	
			18・33・41・44	EDI受注の取込処理と修正入力、FAX受注の受注入力、緊急出荷の場合の倉庫からの受注入力は、担当者のIDとパスワードで制御されている	自動	日に何度も	NA	O	NA	NA	NA	NA	整備・運用	アクセス統制に関するシステム担当者へのヒヤリングの後、担当者のIDとパスワードでしかメニュー画面が開かないことを再実施により、確かめた。(注) シングルサインオンの場合はパスワード設定は、全般統制で確かめる。ただし、販売システムへのアクセス権限が業務の権限と一致して設定されていることは、業務処理統制で確かめる	OK。 受注入力処理(EDI以外)では入力場所コードがデータに記入される。 (検出事項) 無し	記載省略	低	
			24・28・41	受注エラーリストの修正、受注残データの修正、緊急出荷の指示などは、入力部署ではない、営業部で確定している。	手動	日に何度も	x	x	NA	NA	NA	NA	整備・運用	営業担当者へのヒヤリング。 7月の緊急出荷リストを出力し、そのうち、25件をサンプルとして営業からのFAXと突合した。	正当性につき不備があると判断せざるを得ないため、改善を実施し、その後、期末に近い時点で、再度、運用の評価を実施することとする。 (検出事項) 25件の内3件についてはFAXは無かった。倉庫担当者の話では、電話連絡により受注入力の指示があったとのことである。	101-4	中	
財務情報が最新ではなく、継続的に使用できない	継続性	受注ファイルが不当に変更される	18・33・41・44	受注ファイル、在庫ファイル、出荷指示ファイルへの変更は、担当者のIDとパスワードで制御されている	自動	日に何度も	x	x	x	x	x	NA	整備・運用	アクセス統制に関するシステム担当者へのヒヤリングの後、受注入力処理、倉庫からの緊急出荷のための受注入力処理(いずれも、出荷指示ファイルに対するもの)に関する担当者のIDとパスワードの設定状況を査閲し、アクセス権限が業務の権限と一致していることを確認した。	アクセス権限が業務の権限と一致していることについて問題はないが、パスワードの強度が低く、アクセス制御に不備があると考えられる。IDと同一の使用は許可しない、また、簡単なパスワード設定を許可しないなどのシステム上の改善を検討すべきである。 (検出事項) 3桁程度のもの、あるいは名前と一緒のIDやIDと同一のパスワードなどの簡単なパスワード設定が把握された。	記載省略	中	
					自動	日に何度も	O	O	O	O	O	NA	運用	事業部業務課での受注入力を対象として、権限を有する者のID・パスワードでしか入力が行えないことを、入力画面への再実施により確かめた。	OK (検出事項) 無し	800-1	低	
			33	ID、パスワードは、漏出しないよう、担当者によって適切に管理されている。	手動	日に何度も	x	x	x	x	x	NA	整備・運用	担当者からのヒヤリングと規定等の査閲により整備状況を確認した。 事業部業務課を対象として、担当者によるID・パスワードの管理方法を視察と質問により確認した。	検出事項のとおり、職務権限の分離による牽制がなされていない。また、ログをとっても誰がアクセスしたかが不明で実際に処理した者を特定できない。このように、不正な入力が行なわれる可能性があるため、個人IDとパスワードを共有しないように、改善を求め、後日、改善実施後に運用の評価を再度実施する。 (検出事項) 処理を行う端末に全員のIDとパスワードが紙に書いて貼っており、全員がIDとパスワード知っているため、権限を有する担当者以外もアクセスが可能である。	800-1	中	

評価結果が、高または中の項目については、アサーションに×を記載している。(この項目に該当しないアサーションには、NAを記載している)

2-6-2 解答例 ②出荷

IT業務処理統制のRCM

会社名	A社
決算期	平成〇〇年3月
場所	本社
取引サイクル	販売サイクル
ファンクション	出荷
関連する勘定科目	売上、売掛金

網羅性	
実在性	
期間配分	
権利と義務	
評価	
表示	

作成者・作成日	◇◇◇◇ 2006/12/23
確認者・確認日	□□□□ 2007/1/24

高：統制活動の結果のリスクが大きい場合（重要な欠陥など）  
 中：結果のリスクが無視できない場合（不備がある）

リスク	統制目標		No.	主要な統制活動	自動化 手作業	頻度	要件 (アサーション)						整備 運用	統制評価手続	評価並びに検出事項 (検出事項がある場合、その影響)		調書番号	評価結果
	留意事項	完全性					正確性	正当性	継続性	○	NA	○			NA	○		
財務情報に漏れや重複が発生する	完全性 (網羅性)	全ての出荷（納品）が入力処理されていることは、どのように確かめられているか。	47・51	倉庫の出荷責任者が、出荷場所の在庫が無いことを確認した後で、出荷指示書を基に出荷を確認入力をする。出荷チェックリストと未出荷リストが出力されるので、出荷チェックリストと出荷指示書をチェックする。	自動・手動	日	○	NA	NA	NA	NA	NA	整備・運用	担当者からのヒヤリングと規定等の査閲により整備状況を確認。 7月10日付けの出荷チェックリスト及び未出荷チェックリストを通査し、入力完了のチェックマークが付されていることを確かめた。	OK (検出事項)無し	101-1	低	
		省略	省略	省略	手動	日	○	NA	○	NA	NA	NA	整備・運用	担当者からのヒヤリングと規定等の査閲により整備状況を確認した。 7月分につき、異常出荷報告書の有無を確認した上で、7月分として回収された配送先別出荷チェックリストの全件につき通査し、追加訂正の記入などの異常、運送会社担当者の押印の有無を確認した。	OK 指摘どおりの改善が実施され、運用されている。 (検出事項)無し	101-5	低	
		省略	省略	省略										省略	省略	101-2		
財務情報に漏れや重複が発生する	正確性	商品の出荷が注文書に基づいて行われていることは、どのように確かめられているか。	43・44・45	受注ファイルから作成された出荷指示ファイルからしか出荷指示書は出力できない。	自動	日に何度も	○	NA	○	NA	NA	NA	整備・運用	担当者からのヒヤリングと仕様書等の査閲により整備状況を確認した。 出荷画面から出荷指図は入力できないことを確認した。	OK (検出事項)無し	101-4	低	
		出荷（納品）が適切な会計期間に記録されていることは、どのように確かめられているか。	54・55	出荷は、出荷日に出荷確認入力をし、日次で出荷実績ファイルを作成する。	自動	日に何度も	○	NA	○	NA	NA	NA	整備・運用	担当者からのヒヤリングと仕様書等の査閲により整備状況を確認した。 7月の出荷実績データの作成と送信に関する送受信ログを査閲して異常の有無を確認した。	OK (検出事項)無し (留意点)日次締めを含む運用管理について全般統制で評価を行う。	記載省略	低	
		省略	省略	省略										省略	省略			
財務情報に漏れや重複が発生する	正当性	注文された商品のみが出荷されたかどうかは、どのように確かめられているか。	43・44・45	正確性の43・44・45と同じ	自動	日に何度も	○	NA	○	NA	NA	NA	整備・運用	正確性の43・44・45と同じ	OK (検出事項)無し	101-4	低	
		省略	省略	省略										省略	省略			
財務情報に漏れや重複が発生する	継続性	職務が分離され、権限のある担当者だけが商品の出荷・納品を記帳できるようになっているかは、どのように確かめられているか。	43・44・45	正確性の43・44・45と同じ	自動	日に何度も	○	○	○	○	○	NA	整備・運用	正確性の43・44・45と同じ	OK	101-4	低	
		受注の18・33・41・44と同じ	18・33・41	受注の18・33・41・44と同じ	自動	日に何日も	×	×	×	×	×	NA	整備・運用	受注の18・33・41・44と同じ	受注の18・33・41・45と同じ	記載省略	中	
		受注の18・33・41・44と同じ	18・33・41	受注の18・33・41・44と同じ	自動	日に何日も	○	○	○	○	○	NA	運用	受注の18・33・41・44と同じ	受注の18・33・41・45と同じ	800-1	低	
		受注の33と同じ	33	受注の33と同じ	手動	日に何日も	×	×	×	×	×	NA	整備・運用	受注の33と同じ	受注の33と同じ	800-1	中	

③ 売上計上

ファンクション	売上計上
---------	------

財務情報に漏れや重複が発生する	正確性	売上が適切な会計期間に記録されていることは、どのように確かめられているか。	57	月次更新処理により、当月の出荷実績データに基づき販売管理システムで作成された自動仕訳データが、会計システムに正しく取り込まれている（会計上は月末日付で合計数字が計上されるのみ）ことを確認するために、経理部で販売管理システムの出荷実績データと会計システムの仕訳データとの合計額のチェックを行っている。	手動	月	×	×	×	×	NA	NA	整備・運用	担当者からのヒヤリングと規定等の査閲により整備状況を確認した。 4月から7月までの部門別得意先別売上リスト（月次）を査閲し、仕訳明細表の売上高の金額と一致していることを確認したうえで、経理部長の確認印の押印により、経理が確認を実施していることを確かめた。	OK。 (検出事項)6月と7月の売上計上つき、一部手書きの修正が記入されていた。未出荷品を出荷済みとして処理する統制の不備がある。完全性と期間帰属性に重要な影響を及ぼす可能性があるため、改善を要求し、改善完了後に、再度運用の評価を実施する。	101-6	中
-----------------	-----	---------------------------------------	----	---	----	---	---	---	---	---	----	----	-------	--	---	-------	---

評価結果が、高または中の項目については、アサーションに×を記載している。（この項目に該当しないアサーションには、NAを記載している）